



ICTグループの目指すところ

様々な ICT 機器やパソコンツールの活用を通して、主体的に日々の学習や活動に取り組める児童を育成すること。

単元名 これは、なんでしょう

授業について

本単元は、グループでクイズづくりを行う。互いの話を聞き、話の内容を理解したうえで、話題に沿って話したり、再び聞いたりしていく活動の中で、自分たちで意見を1つにまとめていくことをねらいとしている。

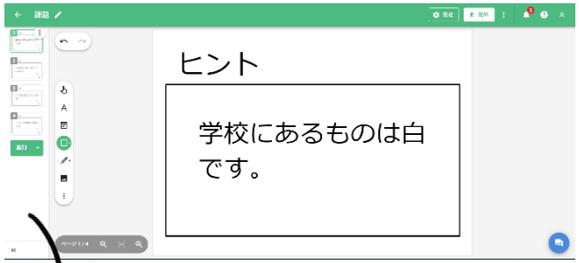
児童の実態と教師の願い

本学級の児童は、1学期からパソコンを使った学習に取り組んできているが、1年生は実際に紙に書く活動も重要なため、多くの単元でパソコンを活用できていないわけではない。主な使用ツールはスクールタクトであり、国語や算数の学習で活用してきた。授業内でパソコンを使うことに対する抵抗はほとんどなく、意欲的に取り組める児童が多い。

本単元では、スクールタクトのスライドの順番を容易に変えることができる機能を活用し、様々なヒントの並びを試しながら、クイズのヒントを出す適切な順序について話し合い、意見をまとめさせていきたい。また、プリントやノートを使ってもできる単元ではあるが、ICT 機器に慣れる、今後のために活用の方法の幅を広げる、といった意図もこめて、パソコンを活用しながら問題作りを行わせていきたいと考えている。

本時のねらい だんだんと答えが明確になるよう、ヒントの順序を話し合って考えること。

本時の活動 (3/4時間)

時間	児童の活動 ★ICT 活用	児童の ICT 活用場面
2分	1 前時にヒントをつかったことを確認する。	  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>スライドの順番を変えて、様々なヒントの並びを試しながら、クイズのヒントを出す適切な順序について話し合いをしていく。</p> </div>
15分	2 例題から、ヒントを出す順番によって、すぐに答えがわかるときとそうでないときがあることに気付く。	
3分	3 めあての確認をする。	
	<p>だんだんこたえにちかづくように、ヒントのじゅんばんをならびかえよう。</p>	
20分	4 ヒントの順序を話し合う。★	
5分	5 クイズを出す練習をする。	